

# 不二精機株式会社 2019年第2四半期 決算説明資料



2019年8月

## おことわり

この開示資料に掲載されている当社の将来に関する計画、戦略などの記述は、現在入手可能な情報による判断に基づいております。

さまざまな要因により、これらの計画などが変動する可能性があることをご承知おきください。

# 2019年第2四半期実績



# 2019年第2四半期 損益概要(連結)

PRODUCT MOTHER

FUJI SEIKI

(単位:百万円)

	2018年(前期実績)		2019年(業績予想)		2019年(実績)					
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前期比		業績予想比	
							増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	3,267	100.0%	3,161	100.0%	3,327	100.0%	51	1.6%	166	5.3%
売上総利益	811	24.8%	730	23.1%	722	21.7%	△89	△11.0%	△8	△1.1%
営業利益	305	9.3%	183	5.8%	204	6.1%	△101	△33.1%	21	11.5%
経常利益	234	7.1%	159	5.0%	207	6.2%	△27	△11.5%	48	30.2%
純利益	174	5.3%	125	4.0%	167	5.0%	△7	△4.0%	42	33.6%

※ 百万円未満を四捨五入して記載しております。

※「業績予想」は2019年2月14日に公表した予想値です。

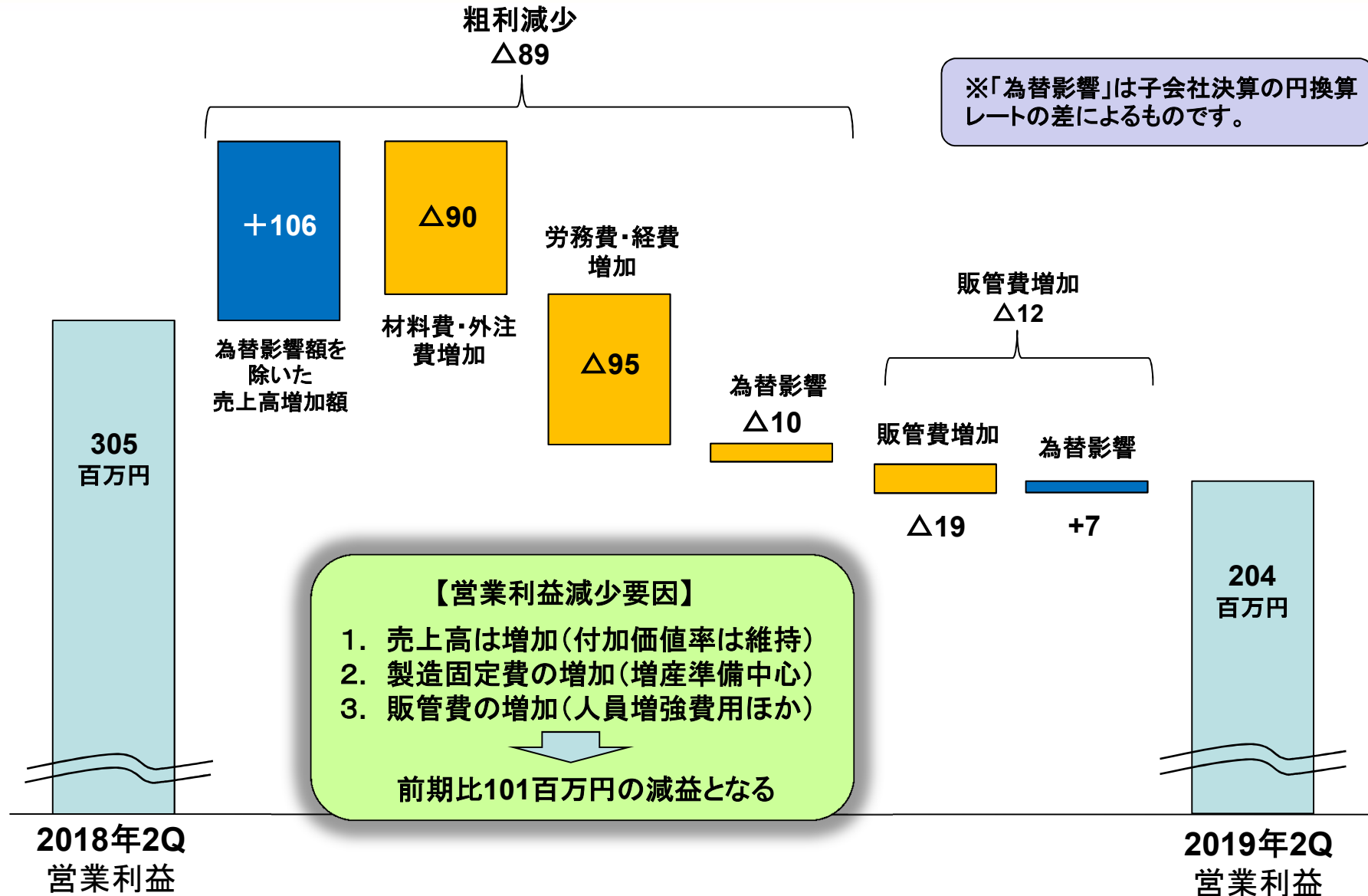
・売上高は、精密成形品事業において、米中の貿易摩擦の影響を受け中国市場での自動車用部品の受注減が発生しましたが、精密金型事業において、医療機器用金型を中心に活発な受注が続いたことなどで、前期を1.6%上回りました。

・営業利益は、2020年度以降の増産のための先行費用(設備増設関連、人員増)の発生などにより前期比33.1%の減益、経常利益は、為替差益の発生と支払利息の減少などにより前期比11.5%の減益、当期利益は、設備の除売却損の減少などにより、前期比4.0%の減益となりました。

# 2019年第2四半期 営業利益(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

## ～対前期比増減要因



# 2019年第2四半期 経常利益(連結)

PRODUCT MOTHER

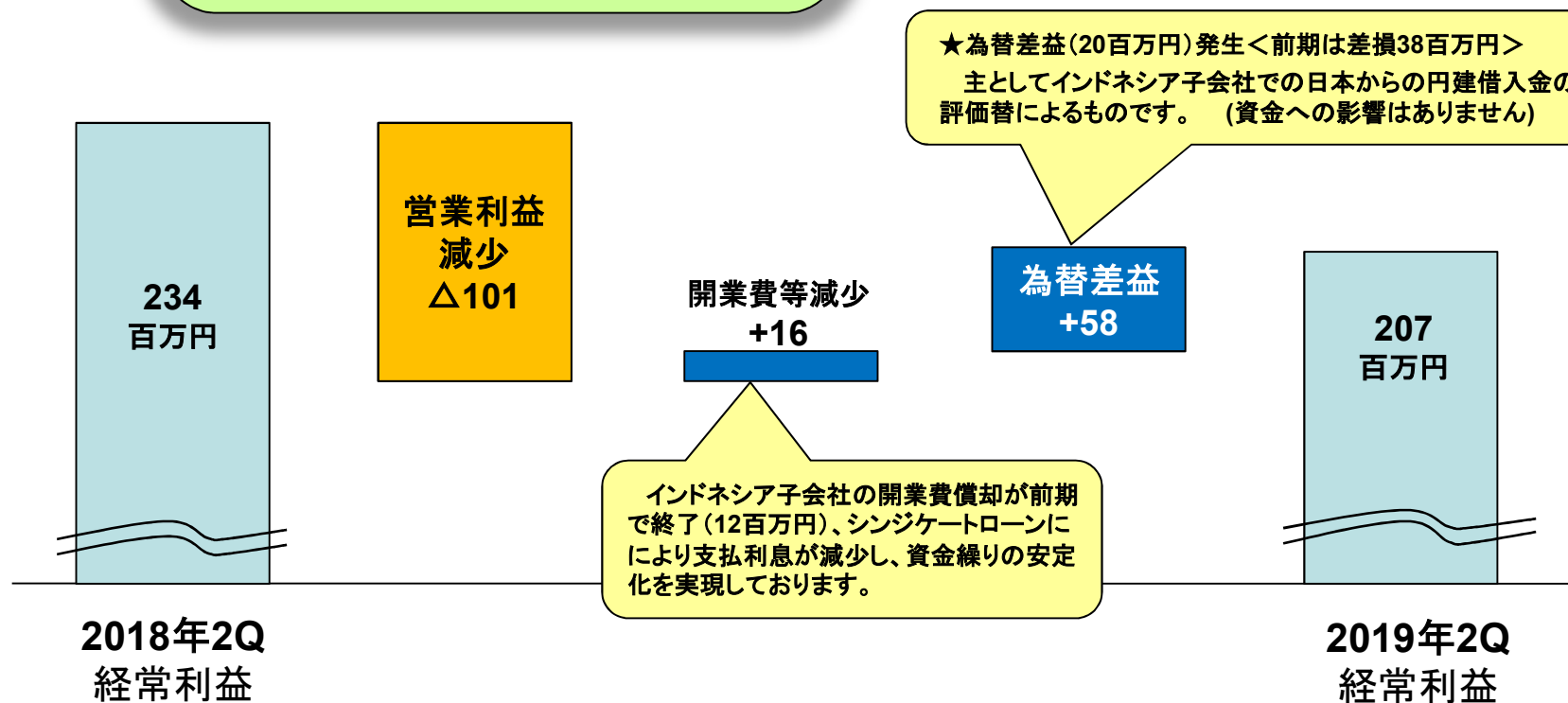
FUJI SEIKI

## ～対前期比増減要因

### 【経常利益減少要因】

1. 営業利益の減少が主因
2. 開業費償却終了、金利負担の軽減
3. 為替差益の発生

前期比27百万円の減益となる



# 2019年第2四半期 連結貸借対照表の概要

MOTHER FUJI SEIKI

(単位:百万円)

		2018年12月(前期末)		2019年6月			
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	主な増減要因
資産	流動資産	3,387	54.7%	3,270	52.1%	△117	資金効率化のため現預金圧縮
	固定資産	2,805	45.3%	3,012	47.9%	207	増産への設備投資による増加
資産計		6,192	100.0%	6,282	100.0%	90	
負債	流動負債	3,123	50.4%	3,112	49.5%	△11	買掛債務の減少
	固定負債	1,689	27.3%	1,679	26.7%	△10	長期借入金の減少
負債計		4,812	77.7%	4,790	76.3%	△21	
純資産計		1,380	22.3%	1,491	23.7%	111	利益剰余金の増加
負債・資本計		6,192	100.0%	6,282	100.0%	90	

## 【取組課題】

- ① 売掛債権・棚卸資産の圧縮による有利子負債の削減
- ② 利益の蓄積による自己資本比率の向上

# 2019年度通期予想

(2019年2月14日に公表した予想を変更しておりません)



## ☆為替レートの影響について

当社は中国、タイ、インドネシアに連結子会社があり、各社とも現地通貨での決算を行っており、為替レートの影響を受ける場合があります。

売上高、利益などについては、各連結子会社の2018年度の平均レートを基に2019年度連結業績予想を算出しております。

また、期末日のレートで連結各社とも外貨建て債権・債務の評価替えを行い、評価差損益を営業外損益に計上いたします。

(2018年度に発生した為替差損56百万円は上記の処理によるものです)

2019年2月14日公表の業績予想は、下記の各レートにより円換算しておりますが、為替レートの影響で、円換算額が変動する可能性があります。

◆2019年第2四半期は、20百万円の為替評価益が発生しております。

(1通貨当たりの円)

中国元	タイバーツ	インドネシアルピア
16.20	3.40	0.0074



### ☆精密金型事業の受注から売上計上(顧客での検収)について

当社グループで製造する精密金型事業の、受注から生産・売上計上(検収)に至るまでの期間は、おおむね5か月程度となっております。

\* 精密金型事業の売上は、検収基準(顧客の検収時点)となっており、製品の完成後も顧客の検収のタイミングによって売上計上時期のずれが発生します。

2019年第2四半期までの精密金型事業の受注高および受注残高の実績推移は、以下の通りです。

2019年下期の売上高は、2019年第2四半期末現在の受注残高に影響されます。

	受注高(百万円)	前年同期比	受注残高(百万円)	前年同期比
2019年2Q	1,663	99.8%	1,668	130.2%
2018年通期	2,901	138.1%	1,550	149.8%
2017年通期	2,101	125.8%	1,035	161.1%

# 2019年度 業績予想(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(単位:百万円)

	2018年度実績			2019年度予想			2019年度予想の概要
	金額	構成比	伸率	金額	構成比	伸率	
精密金型事業	2,365	38.5%	37.3%	2,537	40.6%	7.3%	医療機器用金型の増加
精密成形品事業	3,784	61.5%	6.7%	3,714	59.4%	△1.8%	中国での自動車部品の減少を想定
売上高	6,149	100.0%	16.7%	6,251	100.0%	1.7%	
売上総利益	1,431	23.3%	14.1%	1,484	23.7%	0.5%	精密成形品事業での自動化投資などによる原価率の改善
販売管理費	1,013	16.5%	8.9%	1,121	17.9%	10.7%	中期的な競争力強化のため研究開発投資実施61百万円(前期比55百万円増)
営業利益	418	6.8%	29.0%	363	5.8%	△13.2%	研究開発投資、人的投資の先行的な実施により一時的な減益を予想
経常利益	267	4.3%	89.4%	310	5.0%	16.1%	金利負担減およびインドネシアの開業費償却が前期で終了したことで増益
当期純利益	178	2.9%	45.9%	207	3.3%	16.3%	経常利益の増益により増益

## 【2019年度予想の変動リスク要因】

- ①米中の貿易摩擦による景気減速、為替への影響
- ②中国の環境規制の進捗

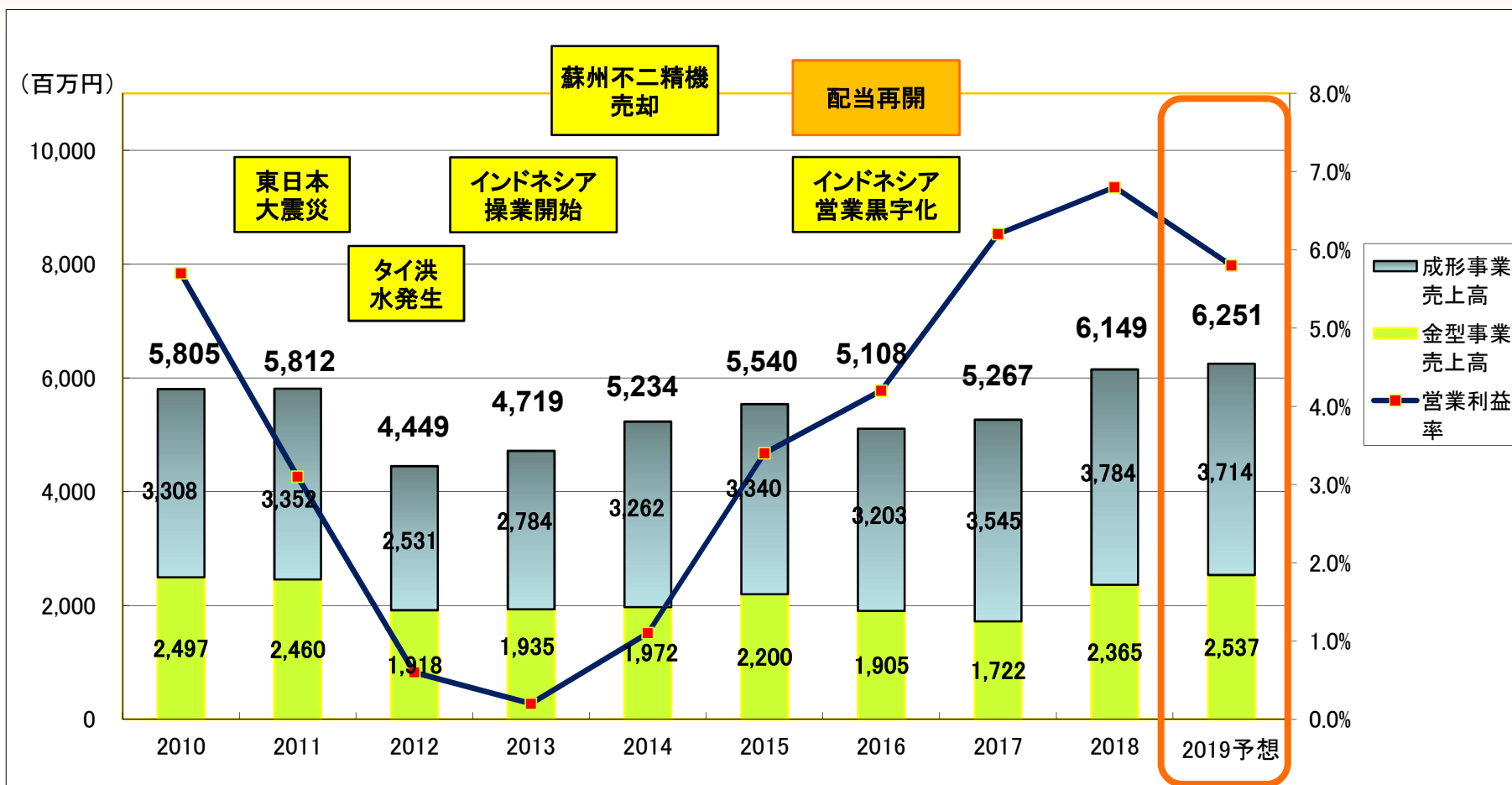
# 直近5年間の業績・財政の推移および2019年度予想

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(単位:百万円)

連 結	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年(予想)
売上高	5,234	5,540	5,108	5,267	6,149	6,251
営業利益	55	189	212	324	418	363
売上高営業利益率	1.1%	3.4%	4.2%	6.2%	6.8%	5.8%
経常利益	26	△53	56	141	267	310
当期利益	△257	△64	39	122	178	207
1株当たり配当(円)	0.00	0.00	3.00	3.00	4.00	4.00
総資産	6,411	5,951	5,193	6,068	6,227	6,403
純資産	1,250	1,114	877	1,116	1,348	1,524
自己資本比率(%)	19.5	18.7	16.9	18.4	21.6	23.8
1株当たり純資産(円)	146.81	130.77	115.49	147.03	174.48	197.25
自己資本純利益率(%) (ROE)	—	—	4.0	12.2	14.5	14.4
設備投資額	462	472	292	287	424	526
減価償却費	281	285	288	298	322	343

# 連結業績 推移(主要イベント)



2015年から、精密成形品事業の売上高は自動車部品の比率が50%を超え、稼働率の安定化により営業利益が増加、さらに2014年に操業を開始したフジセイキインドネシアが2016年に営業黒字化を達成し、営業利益は売上高の増加に伴い、安定的な増益基調に転換しております。

2019年度は、2020年以降の増産に備えた設備投資および競争力強化のための研究開発投資61百万円(前期は6百万円)を計画しており、一時的な営業利益の減益を予想しております。

# 配当政策および配当額

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

当社は、株主への利益還元と将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結損益の実績を考慮した上で安定した配当を継続することを基本方針としております。

2016年度において、操業開始後3年を経過したインドネシア子会社の営業損益の黒字化を機に13期ぶりに復配させていただいております。その後、東南アジア市場を中心とした自動車関連の精密成形品の受注拡大に伴い、グループ全体の業績が引き続き安定化する方向でありますので、株主還元を高めることが可能であると判断し、2018年度に1株あたり3円から4円への増配を実施いたしました。

2019年度は、1株あたり4円の配当実施を予想しております。

	2019年度	2018年度
(単位:円)	予 想	実 績
中間期	0.00	0.00
期 末	4.00	4.00
年 間	4.00	4.00

## 従業員向け譲渡制限付株式インセンティブ制度実施



当社の企業価値の持続的な向上を図り、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的とした取締役、監査役に対する譲渡制限付株式報酬制度を導入いたしました。

さらに企業価値の向上を持続的に進めるため、従業員全員を対象とする譲渡制限付株式を使用したインセンティブ制度を2019年度中に実施いたします。

役員、従業員全員が株主となり、社外の株主の皆様と同一の目線で当社の企業価値の向上を目指し、全社一体となり考動(当社グループでは「考えて動く」を行動理念としております)してまいります。

## 当社株式が貸借銘柄に選定されました

当社株式は、東京証券取引所JASDAQ市場の制度信用銘柄に選定されておりますが、この度、新たに貸借銘柄に選定されました。

選定日は2019年7月5日で、同日の売買分から実施されております。

今回の貸借銘柄への選定は、当社株式の流動性及び需給関係の向上を促進し、売買の活性化と公正な価格形成に資するものと考えております。

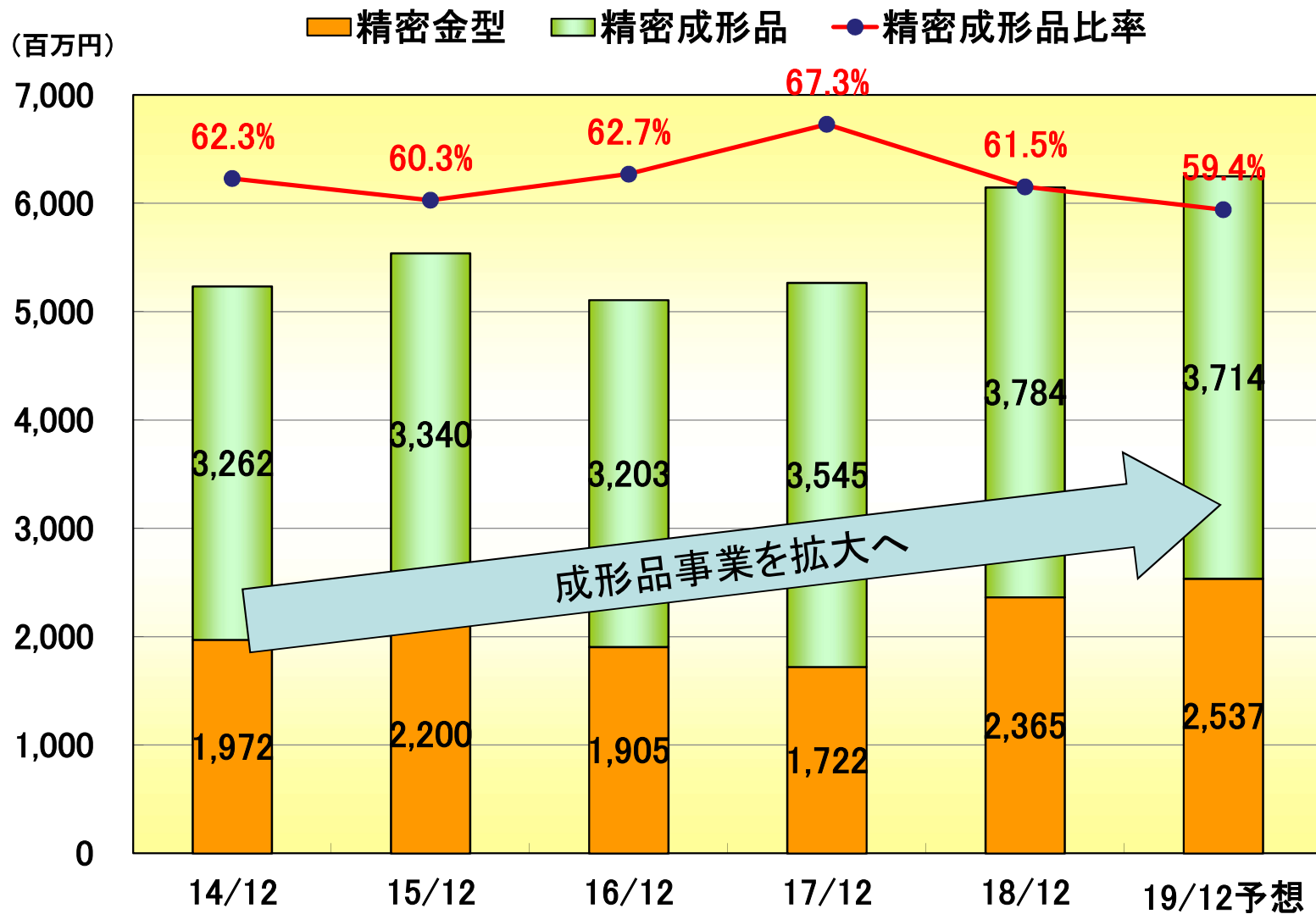
## ご参考

1. 事業別・製品分野別・地域別戦略
2. 不二精機グループ拠点のご紹介
3. 主要製品(精密金型、精密成形品)



# セグメント別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

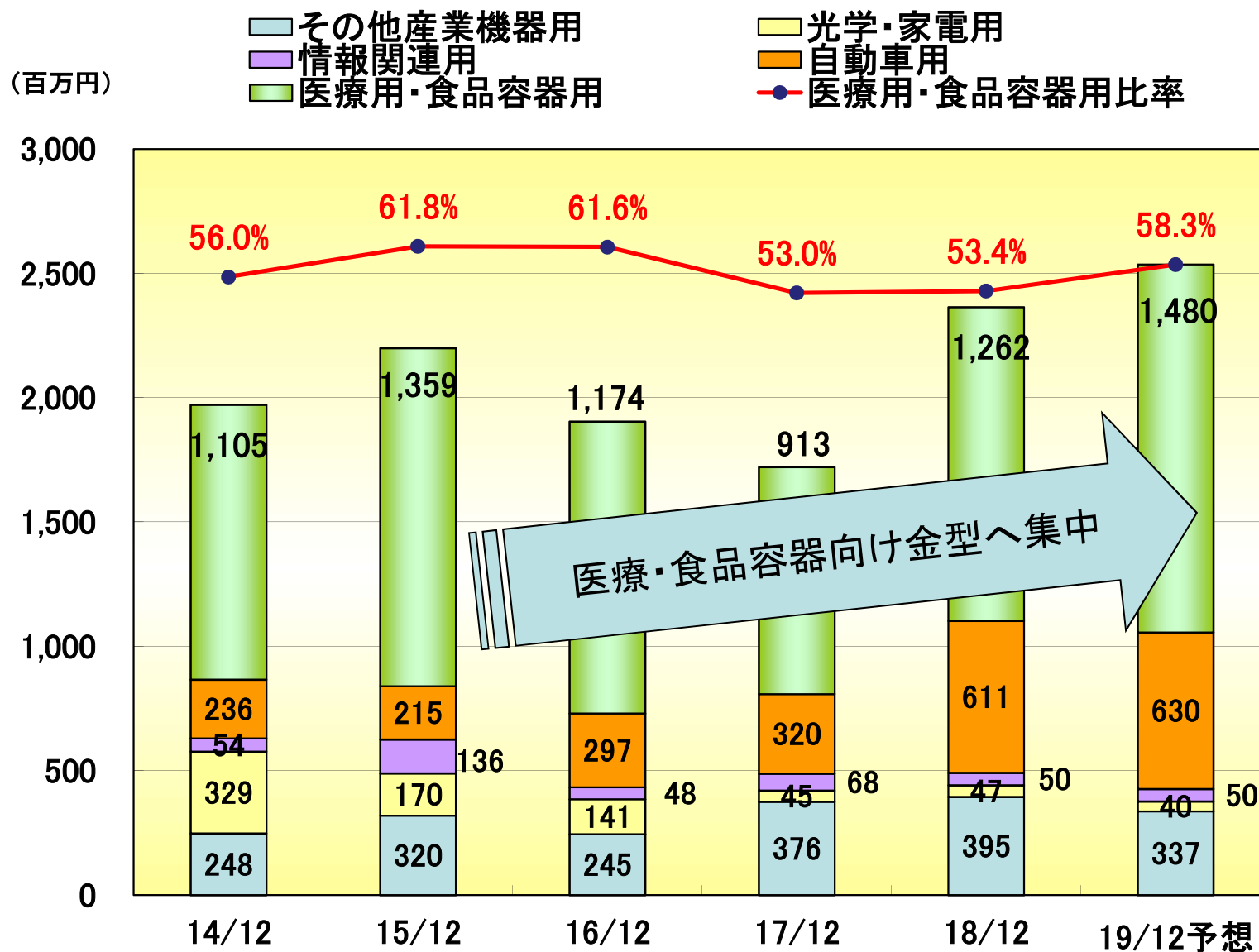




# 精密金型事業 / 分野別売上高推移(連結)

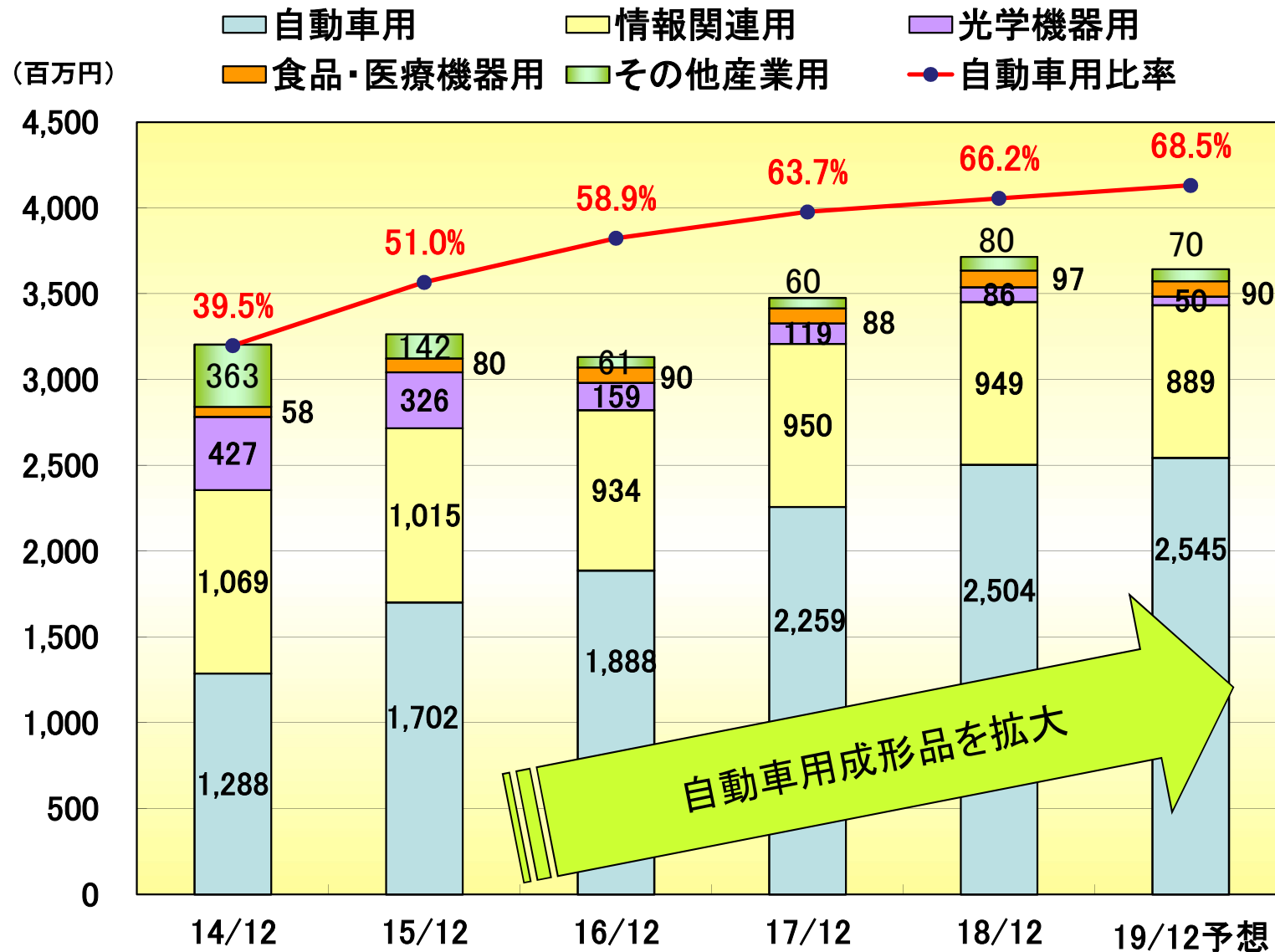
PRODUCT MOTHER

FUJI SEIKI



# 精密成形品事業 / 分野別売上高推移 (連結)

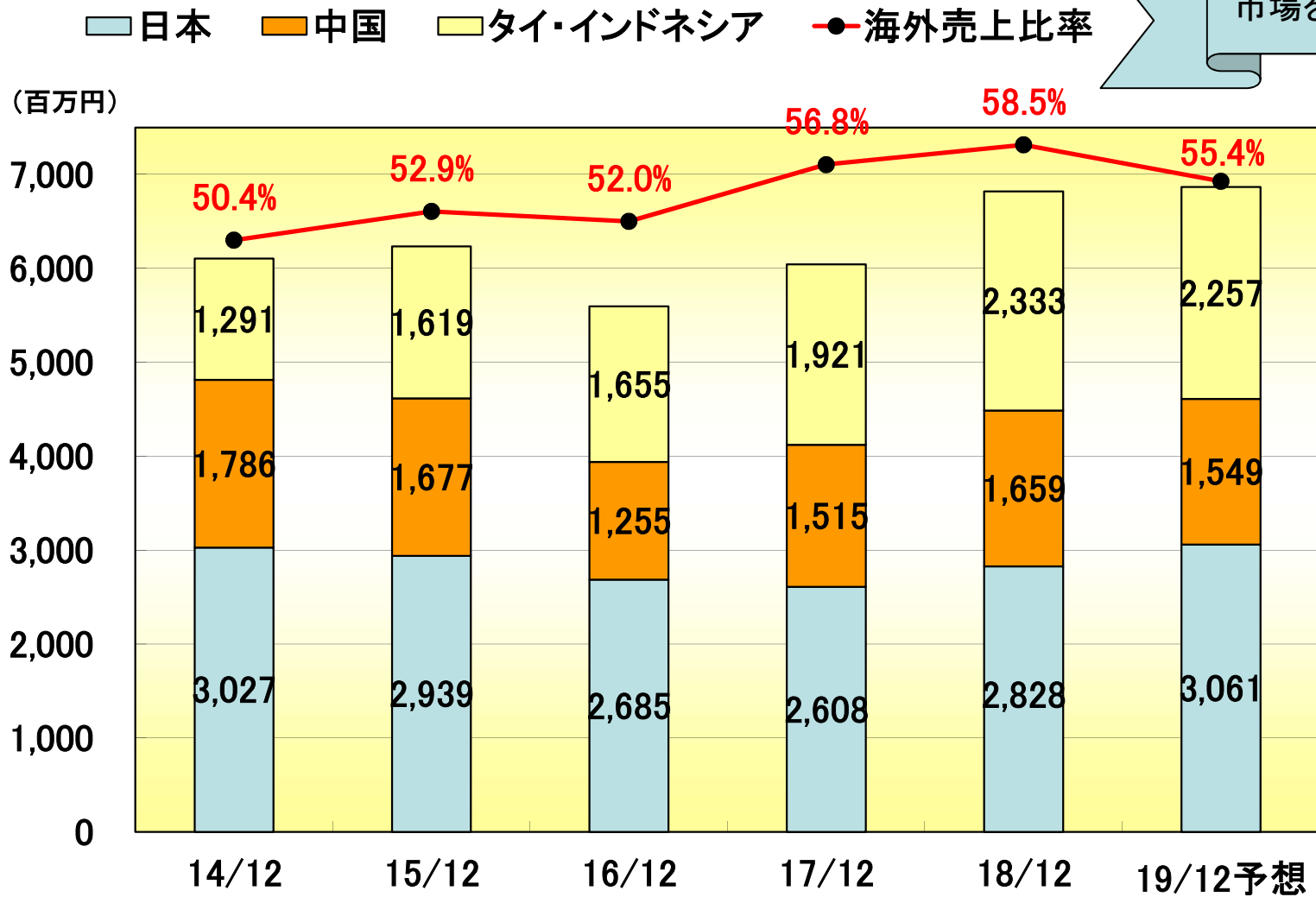
PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



# 地域別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

東南アジア  
市場を拡大



(グループ内売上含む)

# 不二精機グループ 拠点のご紹介

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

## 不二精機グループ 499名

### 国内勤務者109名

### 金型事業

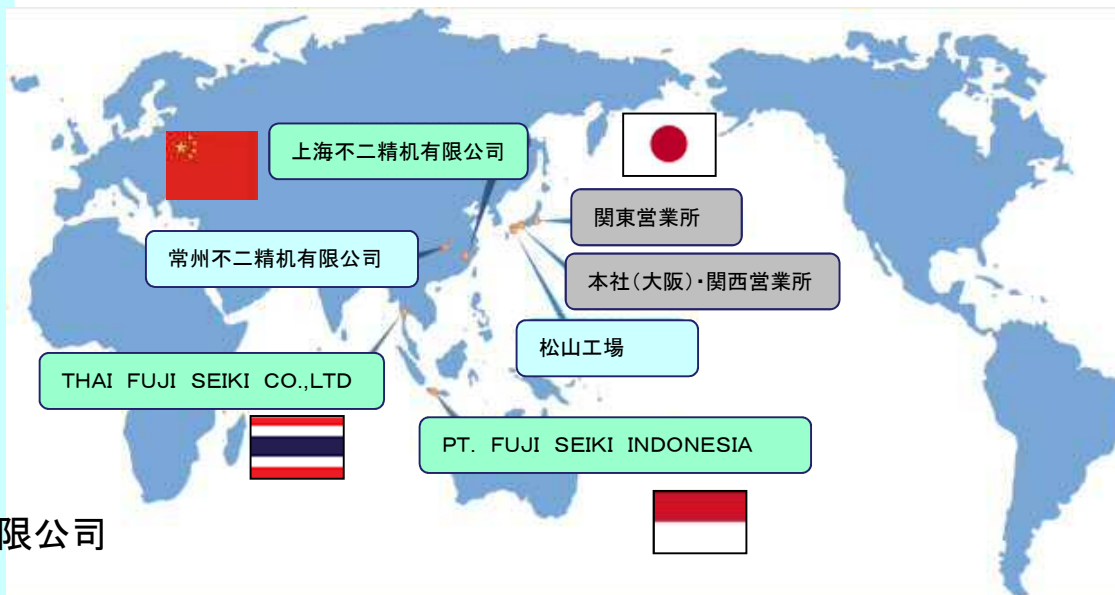
生産拠点2工場



■松山工場



■常州不二精机有限公司



### 営業拠点(国内)

2拠点



■本社(大阪市)  
関西営業所



■関東営業所

### 成形事業

生産拠点3工場



■上海不二精机有限公司



■THAI FUJI SEIKI CO., LTD.



■PT.FUJI SEIKI INDONESIA

## 医療機器用金型



## 食品関連金型



## 情報関連金型 など



## 主力の自動車関連部品

